

2023年度
(令和5年度)
事業報告書

公益財団法人 相模メモリアルパーク

I 事業運営概況

公益財団法人設立の趣旨に則り、霊園事業を運営する法人として健全で安定した財団運営、コンプライアンスを重視した業務執行と墓地管理事業の円滑な推進に努めるとともに、県民の皆様に低廉で良質な墓地の提供を継続的に行い、県民の墓地需要に応え、もって地域の福祉の向上に寄与すべく役職員一同取り組んだ。

また、時代や社会、利用者のニーズの変化を踏まえたサービス水準の向上、自然災害発生に備えた利用者データの保護等のリスクマネジメント事業、健全な経営を維持するための収入確保の取組み等に重点的に取り組むとともに、霊園を維持管理するための従来事業にも継続して取り組んだ。

2023年度(令和5年度)事業計画書

I 令和5年度事業計画の新規・重点事業

- (1) 社会や時代の要請を踏まえた取組み
 - ア 利用者サービス水準の向上に向けて
 - イ 霊園環境の整備に向けて
 - ウ サステナビリティ（持続可能性）に向けて
 - エ DX（デジタルトランスフォーメーション）に向けて
- (2) 収入の確保に向けた取組み
- (3) その他(働きやすい職場環境に向けて)

1 社会や時代の要請を踏まえた取組み

(1) 利用者サービス水準の向上に向けて

① 預骨室の設置

管理棟内の斎場に隣接する倉庫を転用し、骨壺を安置する預骨室を設置した。2023年6月13日からサービスを開始した。

② 石材業者、会席業者を含めたキャッシュレス化の実現

キャッシュレス化はお客様サービスに繋がるものの、現状の決済手数料ではその負担が極めて大きいことから、当面導入を見送ることとした。今後は社会全体におけるキャッシュレス化の動向を踏まえて再度検討する。

③ YouTube など動画を活用したホームページの刷新

2023 年度に刷新方法を検討し、2024 年度に専門業者と具体の調整を行った結果、2024 年 12 月の完成を予定している。

④ 多様なニーズを踏まえた新たな墓地提供

昨今の墓地ニーズの変化を踏まえ、新たに永代供養を主とする樹木墓地ゾーンを整備するため、2023 年度は土地の整備に着手した。

⑤ 墓参が難しい利用者向けの新たな事業

墓参が難しい利用者のためのオンライン墓参について、2023 年度は具体の進展には至らなかったが、費用対効果も踏まえ引き続き検討する。

⑥ 和墓地の参道の整備

参道が狭く重機の使用が難しいことが判明したことから、現在、設計コンサルタントと施工方法等について調整を行っている。

⑦ 霊園開園 60 年記念事業の企画検討

- ・ 開園 60 年を迎えたことを広く知らせるためのロゴマークを作成し、封筒や広告チラシに印刷して利用者等へアピールした。
- ・ 財団が管理する二つの霊園を紹介する販売促進用の DVD を製作し、斎場待合室等で放映することとした。
- ・ 記念商品の第一弾として、返還墓地を活用した特別価格の墓地を限定販売した。

(2) 霊園環境の整備に向けて

① 四季折々に開花する花木の植樹

造園専門業者による現況調査により具体の助言を得た。今後、助言をもとに植樹計画を策定し 2024 年度中には実施に着手する予定である。

② 霊園内擁壁の詳細な強度診断の実施

擁壁の経年劣化対策として、現在、設計コンサルタントと診断方法等について調整を行っている。

③ 和墓地の参道の整備（再掲）

参道が狭く重機の使用が難しいことが判明したことから、現在、設計コンサルタントと施工方法等について調整を行っている。

④ 転落防止柵の設置

現在、設計コンサルタントと施工方法等について調整を行っている。

⑤ **合祀墓の新設について検討**

既存の合祀墓容量がいずれ満杯となることから新たな合祀墓を検討するにあたり、整備検討を進めている樹木墓地ゾーン中に合祀墓を新設する方向で検討している。

⑥ **無縁墳墓の整理**

費用対効果等も勘案し引き続き検討を行う。

(3) **サステナビリティ（持続可能性）に向けて**

① **EV充放電機器の設置**

国の「クリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充てんインフラ等導入促進補助金」を活用して設置する方向で 2024 年度の補助金申請に間に合うよう前年度中に専門業者と打合せを行い、準備は整っている。

② **紙媒体の顧客情報をデータ化し遠隔地でバックアップ**

これまで紙媒体でのみ保管していた顧客情報を全てデータ化を完了し、当面、紙とデータの両方で保存することとした。その上で、データ化した情報を現在使用中の霊園管理システムで閲覧及び印刷できるようシステム改修を行った。

2024 年度は、当該データだけではなく、霊園管理システムのデータも含めて全てをクラウド等で保管し顧客情報の保護を図る。

(4) **DX（デジタルトランスフォーメーション）に向けて**

① **紙媒体の顧客情報をデータ化し遠隔地でバックアップ（再掲）**

前述のとおり。

2 **収入の確保に向けた取組み**

(1) **多様なニーズを踏まえた新たな墓地提供（再掲）**

昨今の墓地ニーズの変化を踏まえ、新たに永代供養を主とする樹木墓地ゾーンを整備するため、2023 年度は土地の整備に着手した。

(2) **墓参が難しい利用者向けの新たな事業（再掲）**

墓参が難しい利用者のためのオンライン墓参について、2023 年度は具体の進展には至らなかったが、費用対効果も踏まえ引き続き検討する。

(3) 各種手数料等の改定に向けた検討

原材料等の高騰を受け、2024年5月1日から塔婆代単価を4,000円から4,200円に見直した。また、預骨室設置に伴い、これまでの無料を1か月当たり1,100円を徴収するよう規定を改めた。

また、今後は霊園管理料等の引き上げについても引き続き検討する。

(4) 期限付き墳墓の販売

2021年10月から販売を開始したが、永代使用墓からの切替えが2023年度に4件あり、販売開始以来13件となっている。

(5) 返還墓地の再販

2024年3月に60年記念として、再販墓地を限定で割引販売した。

(6) 霊園管理料の徴収率向上

- ・ 長期滞納者の管理料徴収が住所確認ができないことなどの理由から進まない現状を踏まえ、5年間回収できない債権を会計上「貸倒処分」に計上するよう会計規程の一部改正を2024年3月13日から施行した。この処分はあくまでも会計上の処理であり滞納者への督促には引き続き努める。
- ・ 毎年、管理料徴収の督促強化月間を設定し、受付職員全員で督促を実施した。
- ・ また、郵便振替よりも徴収率が高い口座振替への切替え促進に努めており、口座振替の利用者は、2017年度末の60.3%から2023年度末には77.0%まで伸びた。

(7) 心の響への広告掲載による地域連携の推進

2022年春号から心の響の裏表紙に、地元の有名店の広告を掲載し、地元事業者との連携を図っている。

3 その他（働きやすい環境に向けて）

(1) 職員休憩室等の新築

建築予定地を整地する中で、高圧、低圧、弱電、汚水、雨水、給水の点検口等があることが判明し、その移設に高額費用を要することから建築を取りやめた。

(2) タイムカードの導入

2023年度4月1日から導入した。

(3) 役員等賠償責任保険契約の締結

2023年2月27日に契約申込みし、2023年4月1日午後4時から2024年4月1日午後4時までの1年間の保険期間で契約した。なお、2024年度も契約済みである。

II 相模メモリアルパークにおける事業報告

1 墓地提供事業

(1) 墓地の種類、提供実績

2023年度の墓地提供の実績は、提供面積189.2㎡、75区画で、対前年度比は面積では57.9%、区画数では62.0%であった。

最近10年間の墓地販売状況は、少子化による承継者不在や葬送に対する考え方の多様化などにより、永代使用墓（以下「普通墓」という）の販売件数は減少傾向にあり、2023年度は前年度よりも大きく減少した。

一方、近年、永代供養墓の需要は高まっており、そうした傾向は今後も続くものと思われる。

また、墓じまいに伴う返還墓地は年々増加しており、2018年度に墓地の返還面積が新規提供面積を上回り、翌年の2019年度には件数も逆転して以来、返還墓地は年々増加傾向にある。

(2) 霊園面積の概況（2024年3月31日現在）

霊園全体面積	192,366.70㎡	
提供対象総数	墓地面積	区画数
	88,525.06㎡(100.0%)	26,736区画(100.0%)
提供済	72,020.70㎡(81.4%)	21,189区画(79.3%)
未提供	16,504.36㎡(18.6%)	5,547区画(20.7%)

※面積については、永代供養墓を除いた実測面積である。

(3) 霊園環境整備

墓地の保全管理については、霊園全体の環境保全を重視し、花と緑が織りなす公園墓地として、グリーン墓域・芝生型墓域・和型墓域のそれぞれの特性を生かして、常に墓域の清潔感が保たれるよう霊園の管理に努めるとともに、霊園設備の適時なメンテナンスにも鋭意努めた。

また、地域との連携事業の一環として、県立愛川高校の生徒に、県立中央農業高校の生徒が育てた花を定植する取組みを2022年度から実施している。

(4) 霊園管理料徴収事務

霊園管理料は、霊園の健全な運営と霊園の永続性を支える大事な資金であることから、滞納者に対して、先ずは電話での催促、また、転居不明・滞納3年以上の墓地に立札を立てるなどの対応に努めた。

また、利用者の手数料及び霊園職員の事務の負担軽減の観点から、郵便振替から口座振替への切替えについて、霊園管理料請求の都度お願いしており、現在、口座振替の利用者は77.0%で、2017年度比では、約28%増加している。

なお、2023年度の霊園管理料の納入率は、90.75%（昨年度は88.5%）であった。

今後も引き続き口座振替への切替えの依頼を継続するとともに、滞納者に対しての督促処理により、納入率の向上に努める。

(5) 預り保証金返済事務

預り保証金は、制度解消に取り組み始めた1999年当初、14,030件あったが、25年間取り組んだ結果、2024年3月31日時点で、残り183件まで減少した。

なお、2023年度は、7件の処理を行った。今後とも、法事等の機会を捉えて、引き続き対象者に理解を得るよう働きかけていく。

2 墓地附帯施設等の管理運営事業

(1) 納骨の受入れ

納骨は、ご家族のお手許から離れ、お墓に遺骨を埋蔵する葬儀の中の一儀式であるので、厳粛な業務の進行に努めた。

2023年度の納骨受入れ件数は、1,139件で前年度比92.0%であった。

(2) 斎場、会席室の提供

2023年度の斎場使用料収入、会席室使用料収入ともに、コロナ以前の状況までの回復には至っていないが、前年度に引き続き回復傾向にある。

(3) 法要サービス

法事における利用者の利便に供するため、僧侶や神官の紹介、塔婆申込みの受付などを行った。

僧侶等紹介件数、塔婆本数ともに葬送に対する考え方の変化等に伴う減少傾向に加え、2020年度は、コロナ禍の影響で2019年度比で約18%落ち込んだ。

2021年度及び2022年度は少し回復したが2023年度は前年度よりも若干減少した。

(4) 墓石及び供花等の販売委託

墓石、供花(花・櫛・しきみ)等の販売を指定墓石工事業者に引き続き委託した。

3 長期修繕・改修計画に基づく修繕等の推進

1964年の墓地造成後60年が経過し、擁壁などの経年劣化が散見され、また、建築物の劣化や諸設備の不具合も危惧されることから、今後の70年を見据え、擁壁等の基盤の再整備や建築物の修繕や建て替えに備えて長期修繕・改修計画を2016年度に策定し、計画に沿って積み立てを行っている。

2023年度は、大規模地震などに備え、霊園内擁壁の詳細な強度診断や和墓地の参道の整備及び転落防止策の設置について設計、施工を行う計画であったが、設計コンサルタントと施工方法等について調整を行っている段階である。

また、管理人棟の改修工事については、手数料収入の減が見込まれることから、理事会の承認を得て事業計画の一部見直しを行った上で取りやめた。

4 霊園開園60年記念事業の企画検討(再掲)

- ・ 開園60年を迎えたことを広く知らせるためのロゴマークを作成し、封筒や広告チラシに印刷して利用者等へアピールした。
- ・ 財団が管理する二つの霊園を紹介する販売促進用のDVDを製作し、斎場待合室等で放映することとした。
- ・ 記念商品の第一弾として、返還墓地を活用した特別価格の墓地を限定販売した。

Ⅲ 湘南森林霊園における事業報告

1 墓地提供事業

(1) 墓地の種類、提供実績

2023年度は、湘南森林霊園の通年営業5年目で、実績は、提供面積162.00㎡、52区画であった。

また、墓地購入希望者からの需要が大きい「永代供養墓」について、合祀墓、合葬墓、家族墓地（2体用・4体用）に加えて、2020年度からは期限付き墳墓を整備し、多様な墓地の提供を推進している。

(2) 霊園面積の概況（2024年3月31日現在）

霊園全体面積	199,429.05㎡	
提供対象総数	墓地面積	区画数
	62,600.60㎡(100.0%)	14,905区画(100.0%)
提供済	2,804.50㎡(4.5%)	1,268区画(8.5%)
未提供	59,796.10㎡(95.5%)	13,637区画(91.5%)

※面積については、永代供養墓を除いた実測面積である。

2 2023年度の取組み

(1) 委託業務の監督と督励

湘南メモリアルプロジェクト株式会社に委託した霊園の運營業務及び維持管理業務並びに霊園の各種サービス事業について、その執行体制に遺漏のないよう監督、督励を行った。

(2) 知名度・認知度アップに向けた取組み

霊園開園から5年が経過し、これまでの広報活動で徐々に知名度が上がってきているが、より一層の知名度向上に向けて、新聞等の各種印刷メディアへの広告掲載、アクセス道路の一つである国道255号線への新規の看板設置（前年度から継続）、鉄道車内広告の実施、インターネット検索への対策強化などの広報宣伝活動について、媒体を適宜変更しつつ、引き続き取り組んだ。特に、2023年12月にはホームページを全面的に見直して更新し、開園後の映像などをふんだんに取り入れ、インターネットからアプローチしてくる昨今の顧客への対応を充実強化した。

知名度向上のための取組みの一つとして星空観察教室を継続して開催し、霊園を訪れる機会を設けただけでなく、この教室の広報活動としてチラシを作成し、秦野市内の公民館11か所、児童館18か所、近隣のスーパーマーケット7か所に掲

示することにより、霊園の知名度向上に努めた。

同様の趣旨で、2023年5月から写経教室を開催しており、2023年度は7回開催で延べ143名の参加者を得た。その広報活動として、上記星空観察教室と同様に公民館、近隣のスーパーマーケット等にチラシを掲示した。2024年度においても開催を継続している。

地元秦野市観光協会への正会員として加盟を継続しており、上記行事開催に際しては、同協会HPにアップしてもらい他、協会事務所に霊園のチラシを配架している。

秦野市社会福祉協議会賛助会員も継続し同会の事業との連携を図っている。

(3) アクセス利便性の向上に向けた取組み

利用者アクセスの利便性向上を図るため、JR二宮駅、小田急線秦野駅と渋沢駅からのシャトルバスの運行を継続しており、広報宣伝と合わせて多面的な営業活動に取り組んだ。

IV 法人運営の状況

1 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会

開催年月日	提出議案	議事の結果
2023年 4月14日 第46回 決議の省略	第1号議案 評議員候補者の推薦について	原案のとおり承認
2023年 6月7日 第47回 現在数 6名 出席数 5名	第1号議案 令和5年度事業計画書の一部変更(案)について	原案のとおり承認
	第2号議案 令和5年度収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の一部変更(案)について	原案のとおり承認
	第3号議案 令和4年度事業報告書について	原案のとおり承認
	第4号議案 令和4年度計算書類及びこれらの付属明細書並びに財産目録について	原案のとおり承認
	第5号議案 評議員選定委員会委員の選任について	原案のとおり承認
	第6号議案 監事候補者の推薦について	原案のとおり承認
	第7号議案 業務執行理事の選定並びに副理事長及び常務理事の選定について	原案のとおり承認
	第8号議案 業務執行理事の報酬月額の設定について	原案のとおり承認
	第9号議案 第31回評議員会の開催について	原案のとおり承認
	第10号議案 理事等の職務権限規程の一部を別紙(案)のとおり改正することについて	

開催年月日	提出議案	議事の結果
2023年 7月20日 第48回 現在数 6名 出席数 5名	第1号議案 電子帳簿保存法施行規則第4条第1項第4号の規定に基づく「事務処理規程」の制定について	原案のとおり承認
	第2号議案 「職員就業規則」の全部改正について	原案のとおり承認
	第3号議案 「職員就業規則の全部改正に伴う関係規程の整理に関する規程」の制定について	原案のとおり承認
	第4号議案 「手数料等徴収規程」の一部改正について	原案のとおり承認
	第5号議案 重要な職員の採用の承認について	原案のとおり承認
2023年 9月26日 第49回 現在数 6名 出席数 4名	第1号議案 評議員選定委員会委員（外部委員）の選任について	原案のとおり承認
2024年 3月13日 第50回 現在数 6名 出席数 5名	第1号議案 令和6年度事業計画の承認について	原案のとおり承認
	第2号議案 令和6年度収支予算等の承認について	原案のとおり承認
	第3号議案 諸規程の一部改正について	原案のとおり承認
	第4号議案 財団と役員との補償契約の締結について	原案のとおり承認
	第5号議案 評議員候補者の推薦について	原案のとおり承認
	第6号議案 事務局長の選任の承認について	原案のとおり承認
	第7号議案 第32回評議員会の開催について	原案のとおり承認

(2) 評議員会

開催年月日	提出議案	議事の結果
2023年 6月28日 第31回 現在数 7名 出席数 6名	第1号議案 令和5年度事業計画書の一部変更(案)について	原案のとおり承認
	第2号議案 令和5年度収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の一部変更(案)について	原案のとおり承認
	第3号議案 令和4年度事業報告書について	原案のとおり承認
	第4号議案 令和4年度計算書類及びこれらの付属明細書並びに財産目録について	原案のとおり承認
	第5号議案 監事の選任について	原案のとおり承認
2024年3月28日 第32回 現在数 7名 出席数 6名	第1号議案 令和6年度事業計画の承認について	原案のとおり承認
	第2号議案 令和6年度収支予算等の承認について	原案のとおり承認

2 理事・監事・評議員・職員等に関する事項

(1) 理事・監事名（2024年3月31日現在・順不同）

役 職	氏 名	勤 務
理 事 長	安 野 讓 次	常 勤
副理事長	安 西 保 行	常 勤
常務理事	茅 野 英 一	常 勤
理 事	田 代 欣 久	非 常 勤
理 事	三 浦 修	非 常 勤
理 事	八 木 まり子	非 常 勤
監 事	長 沢 徹	非 常 勤
監 事	鈴 木 順	非 常 勤
理事 6名	監事 2名	

(2) 評議員名（2024年3月31日現在・順不同）

役 職	氏 名	勤 務
評 議 員	長 田 喜 樹	非 常 勤
評 議 員	公 平 一 宏	非 常 勤
評 議 員	熊 坂 直 美	非 常 勤
評 議 員	小 暮 貴 子	非 常 勤
評 議 員	隅 河 内 司	非 常 勤
評 議 員	山 崎 利 枝	非 常 勤
評 議 員	折 笠 初 雄	非 常 勤
評議員 7名		

(3) 役員等協議会委員名 (2024年3月31日現在・順不同)

役 職	氏 名	備 考
座 長	安 西 保 行	副理事長
委 員	茅 野 英 一	常務理事
委 員	田 代 欣 久	理 事
委 員	鈴 木 順	監 事
委 員	長 田 喜 樹	評 議 員
委 員	公 平 一 宏	評 議 員
委 員	隅 河 内 司	評 議 員
委員 7名		

(4) 職員 (2024年3月31日現在・順不同)

職 名	人 数
執行理事 (理事長、副理事長)	2
(臨)・(嘱) 参 与	2
事 務 局	
(臨) 事務局長・墓地管理者	(参与兼任)
業務担当課長兼管理担当課長	1
管理部	1
業務部	4
再雇用	2
臨 時	2
パートタイム職員	17 (受付3、清掃2、屋外作業12)
愛 川	
執行理事	2名
常勤職員	11名
非常勤職員	18名 (嘱託・パートタイム職員)
湘南森林霊園	
常務理事 (兼) 管理事務所長・墓地管理者	1
合 計	
執行理事	3名
常勤職員	11名
非常勤職員	18名 (嘱託・パートタイム職員)